

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Shodex STANDARD P-82
整理番号	: SD-009
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	: サイズ排除クロマトグラフィー用標準試料
使用上の制限	: 分析用途に限る。 但し、推奨用途以外への使用は当社担当部門にお問い合わせ下さい。
供給者の会社名称	: 株式会社レゾナック
住所	: 東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング
担当部門	: 機能性化学品事業部 特殊化学品部
電話番号	: 03-6263-8112
メールアドレス	: rec_shodex@resonac.com
緊急連絡電話番号	: 044-322-6844 (夜間・休日) (株式会社レゾナック 川崎事業所)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 生殖毒性 区分 1B

[GHSラベル要素]

絵表示又はシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)

注意書き

安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置	: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 (P308+P313)
保管	: 施錠して保管すること。(P405)
廃棄	: 内容物及び容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式等	官報公示整理番号(化審法)(安衛法)		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
プルラン	≥ 90	(C ₆ H ₁₀ O ₅) _n	(8)-98	既存化学物質	9057-02-7
メタノール	< 1	CH ₃ OH	(2)-201	既存化学物質	67-56-1
水	< 10	H ₂ O	-	-	7732-18-5

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 粉じんを大量に吸入した場合は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させて安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。嘔吐がある場合は、頭を横向きにして窒息に注意する。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水または必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い落とす。刺激がある場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄した後、医師の診察を受ける。洗浄の際には、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。可能であれば、多量の水を飲ませ、吐かせるのが望ましい。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 噴霧水、泡、二酸化炭素、ドライケミカル。火災時の特定危険有害性: 粉じんに着火、あるいは爆発する恐れがある。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 有害なガスの発生に備え、消火活動は風上から行う。火災場所周辺は関係者以外の立入を禁止し、関係者以外は安全な場所に避難させる。可能ならば、容器を火災周辺から移動する。強い放水により流出物を撒き散らかさないようにする。廃棄に備え、消火に用いた水は、堰き止めておく。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用する。有害ガスの発生に備え、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 作業に際しては適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。漏出物は掃き集め、密閉容器に回収する。不要な人々を近付けないようにする。
- 二次災害の防止策 : 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。取扱い後は、手、顔などを良く洗う。
- 安全取扱注意事項 : 強酸化剤との接触を避ける。
設備は防爆構造にする 粉じんが拡散しないよう充分注意する。静電気(帯電しやすい)除去対策として、アースを取り付ける。
- 衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 局所排気・全体換気 : 取扱う場合は、局所排気内で取扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い冷暗所に保管する。湿気・高温・直射日光を避ける。しっかりと密閉する。
- 技術的対策 : 適切なアースを設置し静電気の蓄積を避ける。
防爆型の電気機器、換気装置及び照明機器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

メタノール (67-56-1)	
日本 - ばく露限界値	
管理濃度	200ppm
日本産業衛生学会	200ppm(260mg/m ³)(皮)
ACGIH	TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)

- 設備対策 : 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 状況に応じ防塵マスク、簡易防塵マスク等
- 手の保護具 : ゴム手袋等
- 眼の保護具 : 安全眼鏡(サイドシールド付き)、保護眼鏡(ゴーグル型)、状況に応じ保護面
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、状況に応じ前掛け、長靴等

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体
- 外観 : 粉末
- 色 : 白色
- 臭い : 無臭
- 臭気閾値 : 情報なし
- pH : 情報なし
- 融点 : なし
- 凝固点 : データなし
- 沸点 : なし
- 引火点 : 55°C超(推定値)
- 自然発火点 : 約 280°C
- 分解温度 : 情報なし
- 可燃性 : データなし
- 蒸気圧 : 情報なし

相対密度	: 情報なし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水で希釈可能。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: どちらも不溶
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m ³)	: 情報なし
動粘性率:	: 情報なし
粒子サイズ	: データなし
粒径分布	: データなし
粒子形状	: データなし
粒子アスペクト比	: データなし
粒子比表面積	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 常温で安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤との接触に注意する。
避けるべき条件	: 強熱、火花、裸火。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない (データ不足)
急性毒性 (経皮)	: 分類できない (データ不足)
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト) (非該当、データ不足、データなし)

プルラン (9057-02-7)	
急性毒性 (経口)	マウス LD50 >14.28 g/kg(他社 SDS)
メタノール (67-56-1)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 6.2~13g/kg(ACGIH)、6200 mg/kg、9100mg/kg(SIDS)、ヒト LD 0.3~1g/kg(SIDS)、ヒト LD50 1400mg/kg(DFGMAK)
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 15800mg/kg(DFGMAK)、サル LD 1600~4000mg/kg(SIDS)
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラット LC50 (8hr)>22500ppm(DFGMAK)、サル LC (14hr) ≥52mg/L、LC (18hr) ≥13mg/L(SIDS)

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない(データ不足)

メタノール (67-56-1)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ 皮膚刺激性試験 (20 時間) 刺激性なし(DFGMAK) ウサギ 皮膚刺激性試験 (24 時間) 中等度の刺激性(脱脂の影響)(DFGMAK)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない(データ不足)

メタノール (67-56-1)	
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	ウサギ 眼刺激性試験(ドレイズ試験) 結膜炎や結膜浮腫(7日以内の回復は不明)(EHC) ウサギ 眼刺激性試験 中等度の刺激性(EHC)

呼吸器感受性 : 分類できない(データなし)
皮膚感受性 : 分類できない(データ不足)

メタノール (67-56-1)	
皮膚感受性	モルモット 皮膚感受性試験 感受性なし(EHC) ヒトパッチテスト 陽性(メタノールによる感受性とは結論できない)(DFGMAK)

生殖細胞変異原性 : 分類できない(データ不足)

プルラン (9057-02-7)	
生殖細胞変異原性	サルモネラ菌 エームス試験 陰性(CCRIS) 枯草菌 DNA修復試験 陽性(RTECS)

メタノール (67-56-1)	
生殖細胞変異原性	マウス 染色体異常試験/姉妹染色分体交換試験/小核試験(吸入暴露) 陰性(DFGMAK) マウス 小核試験(腹腔内投与) 陰性(DFGMAK) サルモネラ菌/大腸菌 エームス試験 陰性(DFGMAK)

発がん性 : 分類できない(データ不足)

プルラン (9057-02-7)	
発がん性	ラット 62週間混餌投与試験 毒性影響なし NOAEL:(雄)>4450 mg/kg/day、(雌)>5080 mg/kg/day(CCRIS)

メタノール (67-56-1)	
発がん性	ラット 飲水投与試験 500~20000ppmv/v:頭部と頸部のがん 血液リンパ網内系腫瘍(ACGIH) ラット/マウス/サル 18または24ヶ月間吸入暴露試験 1000ppmまで:発がん性なし(ACGIH)

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

メタノール (67-56-1)	
生殖毒性	器官形成期の妊娠マウス 吸入暴露試験 6500mg/m ³ 以上:児で胎児吸収や脳脱出、胎児の奇形(神経および眼の異常、口蓋裂、水腎症と四肢の異常)(EHC) 妊娠7~15日間のラット 吸入暴露試験 26000mg/m ³ :胎児で奇形(過剰または痕跡状頸肋と泌尿器または心血管の異常) NOAEL=6500mg/m ³ (EHC)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない(データ不足)

メタノール (67-56-1)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒト 急性中毒症状 中枢神経系抑制、代謝性アシドーシス、視覚障害、失明、頭痛、嘔吐、頻呼吸、昏睡など、時に死亡(EHC) 中枢神経系の障害、脳白質の壊死(EHC) マウス/ラット 吸入暴露試験 麻酔作用(EHC)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない(データ不足)

プルラン (9057-02-7)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラット 90日間経口投与試験 毒性影響なし(他社 SDS) ラット 14ヶ月間経口投与試験 毒性影響なし(他社 SDS)

メタノール (67-56-1)	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	ヒト 長期暴露 低濃度:広範な眼の障害 (EHC) 職業暴露による慢性毒性影響 失明 (ACGIH) 慢性中毒患者(蒸気暴露) 結膜炎、頭痛、眩暈、不眠症、胃の障害、両眼の失明 (ACGIH) ラット 経口投与試験 肝細胞肥大等 (PATTY)

誤えん有害性 : 分類できない(データなし)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない(データ不足)

水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない(データ不足)

メタノール (67-56-1)	
生態毒性	魚類(ブルーギル)LC50 (96hr) 15400mg/L (SIDS) 魚類(ファットヘッドミノー)LC50 (96hr) 28200mg/L (SIDS) 甲殻類(ブラインシュリンプ) EC50 (96hr) 1340mg/L (EHC) 甲殻類(ブラインシュリンプ) EC50 (24hr) 900.73mg/L (EHC)

残留性・分解性

プルラン (9057-02-7)	
残留性/分解性	良分解性(他社 SDS)
メタノール (67-56-1)	
残留性/分解性	生分解性試験(2週間) 良分解性(既存点検)

生体蓄積性

メタノール (67-56-1)	
生体蓄積性	BCF=0.01~0.51、0.2(計算値) (EHC)

土壌中の移動性

メタノール (67-56-1)	
土壌中の移動性	Koc=1(推算値) (SIDS)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない(データなし)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規・法令を遵守し廃棄する。廃棄処理を委託する場合は、廃棄に関する法令を遵守し、都道府県知事の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄、処分する前に完全に中身を取り出してから行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当

品名(国連輸送名) (UN RTDG) : 非該当

容器等級(UN RTDG) : 非該当

輸送危険物分類(UN RTDG) : 非該当

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 非該当
品名 (国連輸送名) (IMDG) : 非該当
容器等級 (IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 非該当
品名 (国連輸送名) (IATA) : 非該当
容器等級 (IATA) : 非該当
輸送危険物分類 (IATA) : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

指針番号 : 171
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令**国内法令**

労働安全衛生法 : 作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
メタノール
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
メタノール
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
メタノール
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
メタノール (政令番号: 560)

毒物及び劇物取締法 : 通知対象物質ではありません

消防法 : 指定可燃物、合成樹脂類(法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4)

大気汚染防止法 : 特定物質(法第17条第1項、施行令第10条)
メタノール
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
揮発性有機化合物

海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
メチルアルコール

特定有害廃棄物輸出入規制法
(バーゼル法) : 特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年環境省令第12号)
イに掲げる有機溶剤を含む物

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法) : 通知対象物質ではありません

労働基準法 : 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
メチルアルコール

16. その他の情報

その他 : 本 SDS は 2022/10/19 の情報に基づいて作成したのになります。
[適用範囲] この安全データシートは
キット構成: P-800、P-400、P-200、P-100、P-50、P-20、P-10、P-5
に適用する。

SDS の情報は、信頼できると判断された情報源から入手していますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。使用者各位の責任において、材料の適合性を判断頂くようお願いいたします。使用者各位においては、正しい使用と廃棄を行うため、また従業員と顧客の安全と健康及び環境の保護を確実にを行うために、当該 SDS の情報に加えて、自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性を判断ください。